

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 III・V 】
2 実施対象者	札幌市立藤野中学校 全学年 380名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (道徳) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	①本年度は、学校重点目標達成のための方策として「互いの個性や多様性を認め合い心豊かに逞しく生きる力を育む教育を推進する」を掲げた。本事業活用のねらいは、パラアスリートのデモを見て、体験をし、講話を聞くことで、本校生徒が、多様性を認め合うことの意味や、心豊かに逞しく生きる力を育てていける土台を築けるようにすることである。 ②夏休み明けは、子どもの気持ちや生活が不安定で、厭世的になり不登校や自死も全国的に多くなる時期である。またこの期間は、札幌市教育委員会が「子どもの命の大切さを見つめ直す月間」と設定し、各中学校でも様々な取組が行われている。本事業により、つまずきや不安を抱えて2学期を迎えた多くの本校生徒が、勇気や元気をもらい、背中を押されて、2学期のよいスタートが切られるようにしたいと考えている。 ③本事業の活用により、本校生徒が2年後に迫った東京オリンピック・パラリンピックについて真剣に考え、その理念や意義について理解し、スポーツに親しむ態度の育成を図りたいと考えている。
5 取組内容	○指導計画【3時間扱い】 ・事前学習 ・当日（二時間）＊振り返り含む ○取組の様子 ＊事前学習 ・体験予定のゴールボールの映像を見る ・講師の高田さんの資料を読む

	<p>*当日</p> <ul style="list-style-type: none"> • ゴールボールの説明 • ゴールボール体験 • 講師によるデモンストレーション • 講話 • 生徒代表お礼の言葉 • 振り返りシート記入    
6 主な成果	<p>今回の取り組みによってパラスポーツ、パラアスリートについて触れたことで障がいがある人への理解が深まり、目標にあるように多様性を認め合う姿勢を育むことができたと考えられる。また、2年後に迫ったオリンピックだけでなくパラリンピックについても興味をもつ機会になった。</p>
7 実践において工夫した点	<p>全生徒の興味を高めるために事前にゴールボールのビデオを鑑賞させた。 体験の際に、学年や特別支援学級、普通学級といった枠にとらわれない編制や組み合わせにし、多様性を認め合ったうえでのゲームになるようにした。</p>
8 主な課題等	<p>3年間通した計画の中で、本事業を含めた各取組の位置付けを明確にし、相互の関連性をより強いものにしていく必要性を感じた。</p>
9 今後の取組について	<p>ゴールボールのボールを購入し、学年でのレクや体育等でパラスポーツに触れる機会を作る。</p>